

6月議会報告 井之川博幸議員の一般質問から 子供達の甲状腺検査を求める

11日に行なわれた沼田市議会一般質問で、井之川博幸議員は、「本市における福島原発事故での放射性物質の現状は、沼田市除染実施計画書に書いてあるとおり3月15日の午前10時から前橋のモニタリングポストで影響が出はじめ、また、同施設で行なっている降下物の検査で、ヨウ素・セシウムが3月18日から検出されはじめ21日から22日にピークを迎え、本市では15、21、22日と降雨があり、放射性物質の降下量の増加に影響を与えた」とあること。「除染対象となる毎時0.23マイクロシーベルトを超える地域が広範に確認されており、放射性ヨウ素の半減期が7日ということを考えて、その時点で、この地域に住んでいる人には呼吸器から身体に入ったと考えられる。特に福島原発事故での放射線の影響による子供達及び妊産婦を対象とした甲状腺検査及び健康診査の実施を求め」ました。



井之川博幸市議

市長は、「平成23年11月22日に開催された群馬県の『放射線の健康への影響に関する有識者会議』で、「まったく問題ないレベル」という見解が出されている。福島県で実施している18歳以下での甲状腺検査の結果を見ても99.5%が問題なしとなっている」ことから、検査等の実施は必要ない。「国県等の動向を注視しながら対応していく。」と答え、市民の不安に答える姿勢は示しませんでした。

福島では異常は35%、市民も自ら検査に

井之川議員は再質問で、福島の検査では38,114人の検査のうち、0.5%の186人が二次検査に、市長が「問題ない」と答えた99.5%のうち、「5ミリ以下の結節や20ミリ以下の嚢胞を認めたもの」が35.3%、13,460人にも達し、次回の平成26年度以降の検査まで経過観察となっています。沼田市民でも市外の病院で検査をする人が広がっており、経過観察という診断が下されています。チェルノブイリでも子供に「甲状腺ガン」が多く発症したのは5年後からと言われている」と述べ、実施を迫りました。

利根保健生協 沼田北支部総会開催される 新病院建設に関する総代会は16日

利根中央病院が新築移転を計画している問題で、利根保健生協沼田北支部の総会が柳町公民館・桜町区民館・高橋場住民センターの3カ所で3日間にわたって開催され、約50人が参加しました。

総会では、本部から役員が参加して総代会議案の内容や新病院建設計画の内容などが説明され、出席した組合員から質問や意見が出されました。北支部の総会は10数年ぶりのようで、今後はもう少し数多く開催しようという意見がありました。

放射能から食生活・健康を守る！

放射能問題学習会

日時 6月30日(土) 午後2時～

会場 東原新町会館(公民館)

第1部 放射能にまけない食生活

利根中央病院 管理栄養士 生方 利奈 さん

第2部 私達がより安全に暮らせるために

利根中央病院院長補佐 深澤 尚伊 先生



* 駐車場はありませんので、周辺の公園や生協施設の駐車場をご利用ください。

主催 放射能から子供たちを守る沼田の会
白沢の放射能を考える会
* 奈良英子 携帯 090-8454-3075
共催 利根保健生協(22)2300

2012年6月17日 No.612

いのさんニュース

発行所 沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料